

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路 「(仮称)小山田トンネル」貫通式

概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市から盛岡市に至る延長約100kmの地域高規格道路です。東日本大震災で被災した沿岸部と内陸部との強力な連携を推進することによる被災地の早期復興支援や、平常時も含めた緊急輸送圏域の拡大等による安全・安心を確保するため、復興支援道路として、現道106号の隘路箇所を解消し、速達性の向上を図るべく整備を進めています。

この度、宮古箱石道路で初めての貫通となる「(仮称)小山田トンネル(延長1,100m)」の貫通式が執り行われました。平成32年度開通予定の宮古西道路工区の工事進捗にとっても大きな弾みとなるものです。

貫通式では宮古市長はじめ、来賓者による貫通点通り初めが行われました。

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路 小山田トンネル貫通式 開催状況

実施日時：平成28年3月25日(金) 14:00～

実施場所：宮古市千徳第14地割29番 トンネル坑内

主催者：前田建設工業(株)



▲貫通の儀



▲宮古市長によるご挨拶



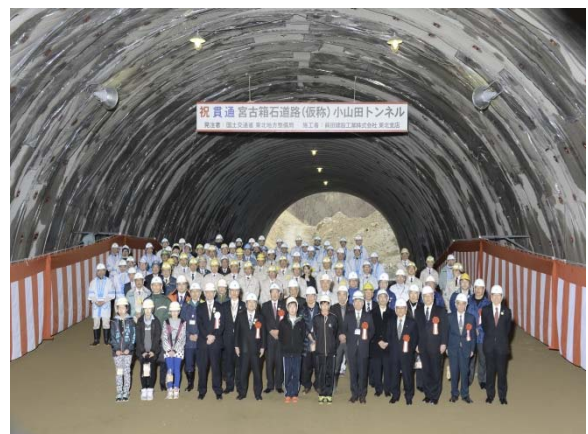
▲通り初め万歳



▲鏡開き



▲施工者による「樽神興」



▲出席者全員による記念撮影